

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

(薬品名)	ヌーイック静注用 500・2000 生物	市販直後調査 2021年8月～2022年1月
(英名)	Simoctocog Alfa (Genetical Recombination)	
(規格・含有量)	1 バイアル中シモクトコグ アルファ(遺伝子組換え) 500IU・2000IU 含有	
(一般名)	シモクトコグ アルファ (遺伝子組換え)	
(メーカー名)	藤本製薬株式会社	
【薬価収載日】	2021年5月	
【薬価】	500; 41,865 円 ・ 2000; 144,395 円	
【薬効コード】	6349	
【薬効分類名】	遺伝子組換え型血液凝固第Ⅷ因子製剤	
効能・効果	血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者における出血傾向の抑制	
用法・用量	<p>本剤を添付の溶解液全量で溶解し、緩徐に静脈内投与する。</p> <p>1 分間に 4mL を超える注射速度は避けること。</p> <p>通常、1 回体重 1kg 当たり 10～30 国際単位を投与するが、患者の症状に応じて適宜増減する。</p> <p>定期的に投与する場合、12 歳以上の患者には、通常、1 回体重 1kg 当たり 30～40 国際単位を週 3 回又は隔日投与する。患者の状態に応じ、投与量は 1 回体重 1kg 当たり 65 国際単位を超えない範囲で、投与間隔は 3～5 日の範囲で適宜調節することもできる。12 歳未満の患者には、通常、1 回体重 1kg 当たり 30～50 国際単位を週 3 回又は隔日投与する。</p>	
禁忌	記載なし	
相互作用	記載なし	
副作用	重大な副作用 ショック、アナフィラキシー	

〔薬品名〕	ラスビック点滴静注キット 150mg 劇
〔英名〕	Lascufloxacin Hydrochloride
〔規格・含有量〕	1 キット中にラスクフロキサシン塩酸塩 162.5mg(ラスクフロキサシンとして 150mg)を含有
〔一般名〕	ラスクフロキサシン塩酸塩
〔メーカー名〕	杏林製薬株式会社
〔薬価収載日〕	2021 年 2 月
〔薬価〕	4,034 円
〔薬効コード〕	6241
〔薬効分類名〕	ニューキノロン系注射用抗菌剤
効能・効果	<p>〈適応菌種〉</p> <p>本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、ペプトストレプトコッカス属、ベイヨネラ属、バクテロイデス属、プレボテラ属、ポルフィロモナス属、フソバクテリウム属、肺炎マイコプラズマ(マイコプラズマ・ニューモニエ)</p> <p>〈適応症〉</p> <p>肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染</p>
用法・用量	通常、成人にはラスクフロキサシンとして、投与初日に 300mg を、投与 2 日目以降は 150mg を 1 日 1 回点滴静注する。
禁忌	<p>本剤の成分又は他のキノロン系抗菌剤に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>QT 延長のある患者(先天性 QT 延長症候群等)</p> <p>低カリウム血症のある患者</p> <p>クラス I A(キニジン、プロカインアミド等)又はクラス III(アミオダロン、ソタロール等)の抗不整脈薬を投与中の患者</p> <p>重度の肝機能障害のある患者</p> <p>妊婦又は妊娠している可能性のある女性</p> <p>小児等</p>
相互作用	<p>QT 延長がみられるおそれ クラス I A 抗不整脈薬;キニジン、プロカインアミド(アミサリン)等・クラス III 抗不整脈薬;アミオダロン(アンカロン)、ソタロール(ソタコール)等・チアジド系利尿剤・ループ系利尿剤・糖質副腎皮質ホルモン剤・ACTH・グリチルリチン製剤</p> <p>痙攣を起こすおそれ フェニル酢酸系、プロピオン酸系非ステロイド性消炎鎮痛剤;フルルビプロフェン等</p> <p>本剤作用減弱のおそれ リファンピシン、フェニトイン、カルバマゼピン</p> <p>他剤作用増強のおそれ テオフィリン、アミノフィリン水和物、レバグリニド</p> <p>臍障害リスク増大のおそれ 副腎皮質ホルモン剤(経口剤及び注射剤);プレドニゾロン、ヒドロコルチゾン等</p>
副作用	<p>重大な副作用 ショック、アナフィラキシー、白血球減少症、間質性肺炎、QT 延長、心室頻拍(Torsades de pointes を含む)、低血糖、偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎、アキレス腱炎、臍断裂等の臍障害、肝機能障害、横紋筋融解症、痙攣、錯乱、せん妄等の精神症状、重症筋無力症の悪化、大動脈瘤、</p>

大動脈解離
その他 注射部位紅斑

削除医薬品通知

オゼックス錠 150mg

1/5 削除

規格追加医薬品採用通知

リクシアナ OD 錠 15mg

1/5 採用

フィコンパ細粒 1%

1/5 採用

後発品医薬品採用通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none">● <u>1月5日より</u> ピルジカイニド塩酸塩カプセル 25mg「DSEP」 ビペリデン塩酸塩錠 1mg「ヨシトミ」 ケトプロフェンテープ 40mg「BMD」● <u>在庫消尽後</u> ケトプロフェンテープ 20mg「パテル」	<p>サンリズムカプセル 25mg アキネトン錠 1mg モーラステープ L40mg モーラステープ 20mg</p>

適応追加通知

エフィエント錠 3.75mg	<p>【効能・効果】</p> 経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される下記の虚血性心疾患 急性冠症候群(不安定狭心症、非 ST 上昇心筋梗塞、ST 上昇心筋梗塞) 安定狭心症、陳旧性心筋梗塞 虚血性脳血管障害(大血管アテローム硬化又は小血管の閉塞に伴う)後の再発抑制 (脳梗塞発症リスクが高い場合に限る) <p>【用法・用量】</p> <経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される虚血性心疾患> 通常、成人には、投与開始日にプラスグレルとして 20mg を 1 日 1 回経口投与し、 その後、維持用量として 1 日 1 回 3.75mg を経口投与する。 <虚血性脳血管障害(大血管アテローム硬化又は小血管の閉塞に伴う)後の再発抑制> 通常、成人には、プラスグレルとして 3.75mg を 1 日 1 回経口投与する。
オブジーボ点滴静注 240mg 120mg 20mg	<p>【効能・効果】</p> 悪性黒色腫 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫 再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌 治癒切除不能な進行・再発の胃癌 切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫 がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不 安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌 がん化学療法後に増悪した根治切除不能な進行・再発の食道癌 食道癌における術後補助療法 原発不明癌 <p>【用法・用量】</p> <再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、原発不明癌> 通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1 回 240mg を 2 週間間隔又は 1 回 480mg を 4 週間間隔で点滴静注する。 <他> 省略
キイトルーダ点滴静注 100mg	<p>【効能・効果】</p> 悪性黒色腫 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫

	<p>がん化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮癌 がん化学療法後に増悪した進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する固形癌(標準的な治療が困難な場合に限る)注)</p> <p>根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌 根治切除不能な進行・再発の食道癌 治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌 PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の手術不能又は再発乳癌 がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌</p> <p>【用法・用量】 <がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌> レンバチニブメシル酸塩との併用において、通常、成人には、ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)として、1回 200mg を3週間間隔又は1回 400mg を6週間間隔で30分間かけて点滴静注する。</p> <p><他> 省略</p>
<p>レンビマカプセル 10mg 4mg</p>	<p>【効能・効果】 根治切除不能な甲状腺癌 切除不能な肝細胞癌(レンビマカプセル 4mg のみ) 切除不能な胸腺癌 がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌</p> <p>【用法・用量】 <がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌> ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)との併用において、通常、成人にはレンバチニブとして1日1回 20mg を経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。</p> <p><他> 省略</p>
<p>レルミナ錠 40mg</p>	<p>【効能・効果】 子宮筋腫に基づく下記諸症状の改善 過多月経、下腹痛、腰痛、貧血 子宮内膜症に基づく疼痛の改善</p> <p>【用法・用量】 通常、成人にはレルゴリクスとして40mg を1日1回食前に経口投与する。なお、初回投与は月経周期1～5日目に行う。</p>